

新ウランバートル国際空港事業権契約締結に向けた働きかけ（モンゴル）

実施日： 令和元年6月16日，同24日等

関連企業：三菱商事株式会社，成田国際空港株式会社，
日本空港ビルデング株式会社，株式会社JALUX

在モンゴル大使館

【概要】

- 日本企業連合4社とモンゴル政府との間で，2018年6月から本格的に新ウランバートル国際空港（NUBIA）の事業権契約交渉を進めていたが，同12月まで殆ど交渉が進まなかった。
- 2018年12月のフレルスフ首相の訪日を機に交渉が進展するようになったが，交渉段階での決定事項について再検討を求められることが多かった。
- 2019年7月5日の事業権契約の締結に向けて，日本企業連合がモンゴル政府と交渉を継続実施していたものの，直前になりNUBIAの事業運営体の設立が危ぶまれる事態が生じた。
- 在モンゴル大使館は，日本企業連合各社が当地訪問時，1週間に1度を目途に進捗状況を確認するため，ヒアリングを実施。
- モンゴル政府への働きかけが必要な事項をまとめ，担当レベルでモンゴル政府への働きかけを行うとともに，必要に応じ，大使から内閣官房長官や道路・運輸開発大臣等本件の主要政府要人への働きかけを実施。特に，最終段階では，河野外務大臣の当地訪問の機会を利用し，首相及び外務大臣への働きかけを実施した他，大使から首相への働きかけを実施した。

